

昭和62年度卒業論文題目

荒井良雄教授指導

Oscar Wilde 研究	井上 富美子
『リア王』における Appearance と Reality	長谷川 一夫
アメリカ映画におけるアメリカの夢	斉藤 直樹
<i>The Moon and Sixpence</i> 研究	大城 ひかる
“AGATHA CHRISTIE” 研究	石井 美津子
<i>Death of a Salesman</i> についての考察	古山 文一
<i>A Farewell to Arms</i> 研究	有田 弥生
OF MICE AND MEN 研究	藤本 一郎
THE GREAT GATSBY 研究	宇都木 祐二
Oscar Wilde の世界	野澤 恵子
HAMLET 研究	田邊 勇二
Hemingway の短編小説の研究	荒 敬良
ベトナム戦争とアメリカ映画	
—『地獄の黙示録』を中心に—	佐藤 信幸
WILLIAM INGE の作品研究	渡 仲洋子
MY FAIR LADY 研究	佐藤 小百合
EAST OF EDEN 研究	秋山 範子
MACBETH 研究	江川 千秋
二十世紀のシェイクスピア批評研究	
—現代シェイクスピアがどのように理解されているか20世紀の 批評家たちを通して考える—	松本 竜二
Charles Chaplin 研究	田中 雅美
MACBETH の世界	木口 浩
Wilde 文学の美意識論	國吉 美千代
Oscar Wilde の人生と芸術	谷 由香里
Chaplin の映画芸術と人生	山本 悟
<i>Pride and Prejudice</i> 研究	
—結婚問題について—	真下 ルミ子
INGE 劇の中心テーマについて	伊藤 陽子

- Tennessee Williams 研究 安 達 美佐子
 WILLIAM INGE 研究 逢 見 明 久
 William Inge の世界 小 野 悟
 William Inge 研究
 —登場人物の性格研究— 小 林 誠 司
 アメリカの喜劇映画論
 —Woody Allen の喜劇を中心に— 角 森 陽 次
 モームの人生観研究
 —The Summtng Up を中心に— 松 田 典 子
- 飯 島 淳 秀 教授指導
- Dickens: *A Christmas Carol*における人生観 荒 竹 直 明
 Maugham: *The Moon and Sixpence* 試論 立 島 進
 Thomas Hardy 論
 —*Tess of the D'urbervilles* にみる女性問題について—
 岩 元 南穂子
- W.S. Maugham: *Of Human Bondage* 研究
 —人生の意味を追求するPhilipの姿— 中 尾 美 香
 W.S. Maugham: *Of Human Bondage* にみる Maugham 像
 本 目 さえ子
- D.H. LAWRENCE: *Lady Chatterley's Lover*
 —*Lady Chatterley's Lover*におけるLifeとLoveについて—
 齊 藤 由 美
- Joyce: *A Portrait of the Artist as a Young Man*にみる Joyce像
 篠 田 大 子
- Thomas Hardy: *Tess of the D'Urber villes* の悲劇性について
 吉 村 恵 美
- Thomas Hardy: *Tess of the D'Urbervilles* における人生観
 木戸田 まり子
- Dickens: *A Christmas Carol* 研究 小 坂 順 子
 Maugham: *Of Human Bondage* の Character Study
 松 田 裕 子

- James Joyce : "Dubliners" 研究 岸 昭 浩
 D.H. Lawrence : *Sons and Lovers* における Love の問題
 谷田部 麻里
 Joyce : *A Portrait of the Artist as a Young
 Man* における人生の追求 佐 藤 弘 子
 Lawrence : *Sons and Lovers* における Love の問題
 中 村 哲 子
 Maugham : *Of Human Bondage* における人生観について
 五十嵐 圭 子
 Dickens : *Great Expectations* における人間性について
 新 井 和 恵
 Virginia Woolf の *Mrs. Dalloway* における心理描写について
 林 利 美
 Willa Cather : *The Professor's House* における人間研究
 五十子 順 子
 S. Maugham : *Of Human Bondage* における Character Study
 木 村 ゆり子
 James Joyce について 小 林 佳世子
 Henry James : *Turn of the Screw* の心理描写について
 日 高 アリナ

岡 田 尚 教授指導

英語と日本語

—発想と表現の比較—

佐 藤 英 樹

C. Dickens : *A Christmas Carol* 論

野 村 伊佐子

英語における借用語

岩 本 明 子

C. Dickens : *A Christmas Carol* について

二 見 環

金 関 寿 夫 教授指導

Steinbeck 研究

—*The Grapes of Wrath* について—

越 井 亜紀子

Henry James 研究

- 特に *The Turn of the Screw* について— 河 村 宣 成
 Wallace Stevens
 —初期の詩について— 村 田 弘 志
 T. S. Eliot 論：
 —*The Waste Land* における Eliot の世界観—
 岩 崎 由 美
 T. S. Eliot: *The Waste Land* 安 原 義 博
 エミリー・ディキンソン研究
 —その詩的技法について— 碓 氷 和 志
 J. D. Salinger 研究 堀 川 光 治
 —*Franny and Zooey* について
 Hemingway 論
 —*A Farewell to Arms* に見られるヘミングウェイの戦争観—
 小田島 薫
- 坂 本 武 教授指導
 日本人の英語から英米人の英語へ 岩 崎 正 明
- 佐 藤 千 春 教授指導
 Ernest Hemingway: *A Farewell to Arms* 研究 鳥羽田 貴 江
 Hemingway: *The Old Man And the Sea* 論 古 葉 浩 昭
 Mark Twain *The Adventures of Huckleberry Finn* 研究
 落 合 秀 敏
- F. Scott Fitzgerald
 —*Tender Is the Nighi* にみられる崩壊のイメージ—
 林 美恵子
The Adventures of Huckleberry Finn にみられる作家の内面図
 稗 川 篤
 マークトゥウェインの後期三部作にみられる人間像
 間 義 則
 William Faulkner: *Light in August* における描写と技巧
 翁 才 媛

- Steinbeck: *The Grapes of Wrath* における生命力について
本橋 美知子
- Mark Twain の後期の作品にみられる人間観
上妻 浩一
- J. D. Salinger: *The Catcher in the Rye* 論
石井 利親
- Henry James『ねじの回転』を中心に
深田 寿
- Anderson, *Poor White* における HUGH McVEYの心のゆくえ
福井 康進
- Edgar Allan Poe の短編における一貫のテーマについて
—詩, 小説, 評論—
松尾 研
- The Scarlet Letter*
—ヘスターを中心とした人物像と物語における二重性—
室 賦 勝 則
- 中 岡 洋 教授指導
- Charlotte Brontë: *Jane Eyre* の作品について
—*Jane Eyre* と 19世紀イギリス女性の生き方—
五十嵐 美 幸
- Charlotte Brontë: *Jane Eyre* 論
—生涯と作品—
中 村 啓 子
- Emily Brontë 福澤 紀子
—*Wuthering Heights*—
- Emily Brontë: *Wuthering Heights* 論
深 瀬 雅 美
- Emily Brontë
—19C に生きた女性たち—
村 上 真 理
- Charlotte Brontë 論
—ヴィクトリア時代を生きた女性作家—
丹 野 亜 紀
- Charlotte Brontë: *Jane Eyre* について
杉 村 藍
- Charlotte Brontë 研究
—*Jane Eyre* 論—
富 田 美 穂
- CHARLOTTE BRONTE 論
—*JANE EYRE*—
田 中 伸 一

高野正夫 助教授指導

- Lyrical Ballads*におけるWordsworthの自然愛と人生観について
梶山義則
- William Blakeの *Songs of Innocence and of Experience*について
内海由起子
- Sir Thomas More *Utopia* のについて
西村知泰
- Astrophel and Stella* に移入された Sir Philip Sidney の奇妙な
感情
両角直明
- Robert Burns の恋愛詩についての考察
彦坂明
- Astrophel and Stella* にみられる, Sir Philip Sidney
の愛と模倣について
手塚明文
- Katherine Mansfield の *The Garden-Party and
Other Stories* について
石河泉
- Deaths and Entrances* が生まれた Thomas の世界
水見正一
- Virginia Woolf の *Mrs. Dalloway* について
間綾子
- Somerset Maugham の「南海もの」における
心理描写と自然現象の関係
原崎葉子
- W. Blake の *Songs of Innocence and of
Experience* における無垢と経験の世界
八本光子
- Thomas Hardy の *Tess of the D'urbervilles*
における女性の立場について
関口奈穂子
- William Blake の *Songs of Innocence and of
Experience* における色彩とイメージについての考察
篠原浩子
- W. Blake の初期の作品の象徴性
本多久里須
- Sons and Lovers* における D. H. LAWRENCE の
現代文明批判, 自然観及び人間関係について
賀川浩明

東 雄一郎 専任講師指導

Emily Dickinson の世界
—自然に注がれた眼—

岩沢博美

- E. A. Poe 研究
 —その詩的世界への考察— 池 田 豪 志
- William Carlos Williams 研究
 —日常性の中の心象風景— 金久保 隆
- John Steinbeck 研究
 —*Of Mice and Men* について— 中 里 貴 子
- Ernest Hemingway: *The Sun Also Rises* 研究
 渡 辺 靖 宏
- Emily Dickinson
 —“Eden Poems” について— 小 池 弘 美
- J. D. Salinger 研究
 —*The Catcher in the Rye* について— 田 中 広 美
- Ernest Hemingway
 —短編小説を中心に— 山 田 敦 巳
- Mother Goose* 研究
 —その諧謔の世界— 林 かず子
- F. Scott Fitzgerald 研究
 —*The Great Gatsby* を中心に— 大 庭 一 根
- Edgar Allan Poe 論
 —詩作品を中心とする考察— 吉 田 靖 彦
- John Steinbeck 研究
 —*The Grapes of Wrath* を中心に— 堀 越 泉 美
- F. Scott Fitzgerald: *The Great Gatsby*, 作品研究
 槌 矢 正 子
- John Irving 研究
 —*The Hotel New Hampshire* を中心に— 伊 藤 史 子
- Emily Dickinson 研究
 —Visionary Image の世界— 結 束 進
- Erskine Caldwell: *Tobacco Road* 論
 澤 村 俊 之
- J. D. Salinger 論
 —*The Catcher in the Rye* を中心に— 関 知 子
- J. D. Salinger 研究

—*The Catcher in the Rye* 中心とする考察—

西岡 朋子

Emily Dickinson 研究

—その愛と自然について—

野村 桂子

石原 孝哉 教授指導

Jonathan Swift 研究

—『ガリヴァー旅行記』における諷刺を中心として—

藤田 晶子

岡崎 寿一郎 教授

Hemingway 研究

山川 佳子

—*The Old men and the Sea* を中心として—

MARK TWAIN 研究

—‘prose epic of American life’ について—

千葉 聡

J. D. Salinger 研究

—グラス家の子供たち—

篠崎 春美

Mark Twain 研究

—後期作品における Mark Twain の人生観—

古田 直子

偉大なるギャツビー

三塚 直樹

Harry Sinclair Lewis 研究

—*Main Street* に関する研究と考察—

嶋田 裕士

J. D. サリンジャー研究

—*The Catcher in the Rye* を中心に—

大森 貴子

ライ麦畑でつかまえての研究

山田 裕子

James Baldwin の研究

—*Go Tell it on the Mountain* をとうしての黒人文学について—

中井 美歌子

Ernest Hemingway 研究

—*The Sun Also Rises* を中心に—

十文字 秀樹

The Sun Also Rises における Hemingway 研究

- | | |
|---|-----------|
| | 矢 島 雅 不 |
| シャーウッド・アンダスン研究 | |
| —ワインズバーグオハイオに関する研究と考察— | |
| MELVILLE: <i>MOBY-DICK</i> 論 | 吉 田 光 之 |
| 「現代にみる文学・文学にみる未来」 | 岡 本 浩 |
| —英米文学における空間芸術を求めて— | 立 川 直 樹 |
| Richard Wright 研究 | |
| — <i>Native Son</i> を中心に— | 松 本 典 子 |
| Mark Twain 研究 | |
| — <i>Huckleberry Finn</i> を中心とする M. Twain のアメリカ文学— | 梅 澤 麻 子 |
| Truman Capote 研究 | |
| — <i>Breakfast at Tiffany's</i> を中心に— | 天 野 由 美 子 |
| Willa Cather 研究 | |
| — <i>My Ántonia</i> — | 景 山 美 智 子 |
| ヘミングウェイ研究 | |
| —『誰がために鐘は鳴る』についての考察— | 西 川 正 幸 |
| J. D. Salinger 研究 | 金 丸 貴 之 |
| Ernest Hemingway 研究 | |
| —『老人と海』を中心に— | 中 村 匡 毅 |
| Ambrose Bierce “ <i>In the Midst of Life</i> ” を中心に | 小 倉 孝 子 |
| <i>The Great Gatsby</i> における Fitzgerald 研究 | 溪 口 真 一 朗 |
| J. D. Salinger 研究 | |
| — <i>The Catcher in the Rye</i> を中心に— | 秋 山 佳 子 |
| Mark Twain 研究 | |
| —文明と自然— | 荒 井 和 弘 |
| <i>The Turn of the Screw</i> 論 | |
| —意識の流れについて— | 小 川 修 一 |
| Ernest Heningway 研究 | |
| —Lost Generation 「失われた世代」時代を中心に— | |

- | | |
|--|---------|
| | 川 上 慎 治 |
| Mark Twain 研究 | |
| —トムとハックによって表される世界— | 北 敏 |
| <i>GONE WITH THE WIND</i> 論 | |
| —スカーレット・オハラに於ける女性像— | 齊 藤 睦 美 |
| ソール・ベロー研究 | |
| —ソール・ベロー作品の中の自己確立について— | 宍 田 充 |
| F. S. FITZGERALD 研究 | |
| — <i>WINTER DREAMS</i> 論— | 高 野 将 郎 |
| <i>God's Little Acre</i> 論 | |
| —Poor White について— | 仲 田 光 一 |
| Mark Twain 研究 | |
| —思想と作品— | 松 田 企 史 |
| Truman Capote: <i>Breakfast at Tiffany's</i> 論 | 緑 川 和 裕 |
| Richard Brautigan 研究 | |
| —Brautigan 文学における東洋思想の影響— | 門 司 博 志 |
| Updike 研究 | |
| —短編を中心に— | 松 原 朝 子 |
| Pearl. S. Buck 論 | |
| —『大地』における考察— | 御 園 晴 代 |
| Fitzgerald 研究 | |
| — <i>The Great Gatsby</i> を中心にして— | 前 島 智 子 |
| ガートルード・スタイン研究 | 酒 向 香 名 |
| <i>FLOWERS FOR ALGERNON</i> における人間研究 | |
| | 猪 原 徹 志 |
| 落 合 和 昭 教授指導 | |
| Wilder: <i>Our Town</i> について | 山 田 竜 一 |
| 山 縣 敏 夫 教授指導 | |
| E. Hemingway のハードボイルド研究 | |

- 主として *A Farewell to Arms* について— 岩 崎 由紀子
 E. Hemingway *A Farewell to Arms* 研究
 —時代と作品— 海 讀 良 一
 Ernest Hemingway について
 —*A Farewell to Arms* の悲劇— 須 田 展 世
 Francis Scott Key Fitzgerald:
 —*The Great Gatsby* 論— 三 浦 和 恵
 John Steinbeck 研究
 —*The Grapes of Wrath* を中心に— 栗 原 加寿美
 Richard Wright 研究
 —*Native Son* 論— 大 杉 愛 成
 Margaret Mitchell 論:
 —*Gone with the Wind* における女性像— 高 橋 由 枝
 HEMINGWAY
 —その人間性— 盛 永 仁 志
 Fitzgerald: *The Great Gatsby* 論 溝 江 智 宏
 Ernest Hemingway 研究
 —その思想と作品— 中 田 晴 彦
 Stephen Crane: *The Red Badge of Courage* について
 —Stephen Crane における戦争と自然と心理—
 森 本 浩 之
 ジョンスティンベック『怒りの葡萄』
 —その作品と社会背景について— 江 縫 正 巳
 Richard Wright, *Native Son* について
 —アメリカ黒人文学の流れ— 佐々木 伸 良
 Hemingway: *The Old Man and the Sea*
 —この作品における作者の人間観— 田 中 秀 一
 RICHARD WRIGHT 研究
 —*NATIVE SON*— 水 野 誠
 Ernest Hemingway について
 —その作品における女性観— 吉 田 明 義
Grate Gatsby

- 時代変化と社会事情— 田嶋豊彦
 Arthur Miller 研究
- Death of a Salesman* について— 笈田正夫
 Ralph Ellison 研究
- Invisible Man* における黒人の自己認識— 高田伸一
 「失われた世代」の作家—Ernest Hemingway—
- A Farewell to Arms* を中心として— 小出直実
 J. D. Salinger について
- The Catcher in the Rye* における Holden の性格と社会性— 田原礼子
- John Steinbeck 研究
- 『怒りのぶどう』について— 加瀬綾子
 Ernest Hemingway について
- 小説 *The Old Man and the Sea* の分析— 伊勢本珠紀
 John Steinbeck 研究
- The Grapes of Wrath* における登場人物の社会性について— 日比野規生
- Margaret Michell: *GONE WITH THE WIND* 論
- GONE WITH THE WIND* においてアメリカ南部
 を通して繰り広げられる激動の時代と一大ロマンス— 岡田安紀子
- Ernest Hemingway 研究
- A Farewell to Arms* について— 中西一夫
 Wright: *Native Son* について
- 黒人文学の歴史的変遷におけるライトの位置— 鈴木恒雄
- J. D. Salinger: *The Catcher in the Rye* 論 田村美保子
 Ralph Ellison: *Invisible Man* について
- 現代アメリカ社会における黒人の人間性探究— 横山みゆき

佐藤吉介 講師指導

Study of Mark Twain

—*Adventures of Huckleberry Finn* を中心に—

長谷川 浩 志

Henry James: *The Wings of the Dove* 論

小笠原 千 佳

Ralph Waldo Emerson 研究

—*Nature* 考察—

小 山 典 久

T. DREISER, *AN AMERICAN TRAGEDY* にみる

アメリカ自然主義文学

福 澤 泉 一

Study of Richard Wright

—アメリカ社会におけるリチャード・ライトの影響—

青 山 靖

Study of Mark Twain

—*The Adventures of Tom Sawyer*—

三 瓶 至

Study of Edgar Allan Poe

—*The Fall of the House of Usher* について—

渡 辺 善 文

赤祖父 哲 二 講師指導

Salinger: *The Catcher in the Rye* 研究

西 村 英 将

寺 門 泰 彦 講師指導

F. Scott Fitzgerald

—交錯する夢と崩壊—

岩 崎 奈穂美

昭和63年度卒業論文題目

荒井良雄 教授指導

Charles Chaplin 研究

—愛と勇気の映画人生—

金市 栄次郎

HAMLET 研究

松田 直子

MACBETH 研究

宮本 由美子

MACBETH 研究

—マクベスの野望について—

斎藤 裕利子

チャールズ・チャップリン研究

—アメリカ喜劇に生きるチャップリンの人生観—

梁 博光

DEATH OF A SALESMAN 研究

—WILLY LOMAN を通じて見た現代のアメリカ—

栗田 久

BERNARD SHAW 研究

富谷 俊治

GONE WITH THE WIND 研究

—Vivien Leigh と Scarlett O'Hara—

菊地 洋子

ファンタジーの世界

—Tolkien を中心に—

中村 祐一

英米の Musicians と救済運動

須子田 恭輔

WILLIAM INGE 研究

大下 恵子

Tennessee Williams 研究

—*A Streetcar Named Desire* を中心とした人生観—

渡辺 聡一

ABRAHAM LINCOLN 研究

—アメリカの夢の原点をたどって—

高木 敏夫

A MIDSUMMER NIGHT'S DREAM 論

左部 由美子

Oscar Wilde 研究

—*THE IMPORTANCE OF BEING EARNEST* を中心に—

高橋 郁夫

Shakespeare: *Macbeth* 論

—*Macbeth* における魔女の存在の意義について—

WILLIAM INGE 研究	安藤忠浩
<i>GONE WITH THE WIND</i> 研究	大野文昭
マーク・トウェイン研究	平島令子
—ハックとトム冒険を中心に—	福原利行
<i>Twelfth Night</i> 研究	本村由美子
<i>TWELFTH NIGHT</i> 研究	小栗山直子
Eugene O'Neill 研究	
— <i>Beyond the Horizon</i> を中心に—	許素恵
Peter Shaffer 研究	
— <i>Amadeus</i> を中心に—	磯本保理
現代英語教育研究	
—中学英語教育の問題点—	畦田祐二
英米映画論	
—ミュージカル映画を中心に—	陳野重理
Shakespeare と音楽	東谷聖美
CHAPLIN 映画研究	
—悲劇的側面の考察—	一刀匡史
飯島淳秀 教授指導	
D. H. Lawrence : <i>Sons and Lovers</i> 研究	
—屈折する愛の問題—	野明尚子
O. Henry の短篇の世界	三嶋和美
D. H. Lawrence : <i>Sons and Lovers</i> 研究	
—人生と愛の問題を中心に—	後田知恵
James Joyce : <i>Dubliners</i> 論	
—作品の構成とテーマについて—	杉山瑞枝
James Joyce : <i>Dubliners</i> 研究	
—作品に見る作者の意図を中心に—	篠田昌己
Maugham : <i>Of Human Bondage</i> 研究	
—「ペルシア絨緞の謎」を求めて—	町田なんみ

W. S. MAUGHAM: *THE MOON AND SIXPENCE* 研究

- MAUGHAM の通俗性について— 伊藤 剛 志
- Hardy: *Tess of the D'Urbervilles* について
- Character Study を中心に— 中西 喜 幸
- S. Maugham: *The Moon and Sixpence* 研究
- 雅と俗の世界について— 松 尾 美香子
- ジョイス『若き日の芸術家の肖像』について
- 一つの肖像・A Young Man を中心に— 橋 本 信 之
- D. H. Lawrence: *Sons and Lovers* について
- Paul を中心に— 児矢野 康之
- Joyce: *Dubliners* 研究
- 『ダブリン市民』の世界について— 小 澤 清 美
- S. Maugham: *The Moon and Sixpence* 論
- 主として Maugham の芸術観・人生観について—
- 門 屋 直 子
- D. H. Lawrence: *Sons and Lovers* 研究
- Life と Love の追求について— 岩 田 弥 生
- James Joyce: *A Portrait of the Artist as a Young Man* 論
- Stephen Dedalus に関する Character Study—
- 藤 瀬 典 子
- Maugham: *Of Human Bondage* 研究
- 主人公を巡る人間像と女性観について— 中 山 未 樹
- Hardy: *Tess of the D'Urbervilles* 論
- Tess に見る Hardy の思想を中心に— 小 林 知 子
- D. H. Lawrence: *Sons and Lovers* 論
- Paul を巡る女性像について— 堀 井 利江子
- Carroll の “Alice” 像について 塩 越 佳 奈
- 岡 田 尚 教授指導
- 関係代名詞について 佐 藤 孝 司

- be going to について 徳 重 竜 彦
 受身について 網 井 裕 一
 英語の借用語について
 —語彙の文化を探る— 山 田 明
 日・英語 表現構造の比較 西 奥 実 花
 受動態 山 本 直 樹
- 金 関 寿 夫 教授指導
 ERNEST HEMINGWAY 論
 —*A Farewell to Arms* について— 関 口 守 義
 アレン・ギンズバーグについて
 —特に詩集「吠える」を中心に— 藤 本 茂 章
 Emily Dickinson 研究
 —その自然観を中心に— 坂 田 丁
 F. Scott Fitzgerald 論
 —特に「偉大なるギャッツビー」を中心として— 岸 原 孝 昌
 Beatnik と禅とのつながり
 —Gary Snyder, 'Riprap' と 'Myths and Texts' において— 佐々木 誠二郎
 EMILY DICKINSON 研究
 —特に 'I died for Beauty' をめぐって— 桑 原 哲 也
 Ambrose Bierce 研究
 —'An Occurrence at Owl Creeks Bridge' について— 小 倉 孝 子
 ウォルト・ホイットマン
 —霊肉一致の問題について— 塚 田 孝
- 河 崎 征 俊 教授指導
 Alfred Tennyson 文学の性格描写と悲劇性
 —Enoch Arden を中心にして— 西 要 子
 George Eliot の文学性

- | | |
|---|---------|
| — <i>Silas Marner</i> を中心にして— | 志 村 栄一郎 |
| W. Wordsworth の詩的世界 | |
| —自然観をめぐって— | 高 橋 薫 |
| Thomas Hardy の文学的遺産 | |
| — <i>Tess of the D'Urbervilles</i> を中心に— | 石 井 孝 司 |
| Charles Dickens の世界 | |
| — <i>A Christmas Carol</i> の愛をめぐって— | 新 井 宏 子 |
| 佐 藤 千 春 教授指導 | |
| John Steinbeck; <i>The Grapes of Wrath</i> について | |
| | 青 山 讓 治 |
| <i>GONE WITH THE WIND</i> | |
| —主人公の生き方を中心に— | 真 壁 克 枝 |
| F. S. Fitzgerald の研究 | |
| — <i>THE Great Gatsby</i> を中心に— | 佐 山 秀 一 |
| Edith Wharton: <i>Ethan Frome</i> | |
| —寒村に散る愛の孤独— | 平 尾 恵 子 |
| <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> の研究 | |
| —主人公の性格描写を中心に— | 遠 藤 公 一 |
| Steinbeck 研究 | |
| —作品にみられる人間観の変化— | 加 藤 健 次 |
| 中 岡 洋 教授指導 | |
| <i>Jane Ayre</i> 論 | 土 屋 恭 保 |
| — <i>Jane Ayre</i> に見る Charlotte の姿 | |
| <i>Jane Eyre</i> 研究 | |
| <i>Jane Eyre</i> 研究 | 平 田 泰 祐 |
| —その生き方と情熱— | 石 川 讓 太 |
| 小説『嵐が丘』について | |
| —その神秘的な魅力を探る— | 坂 本 浩 子 |
| Jane Austen: <i>Pride and Prejudice</i> 論 | 渡 辺 太 |
| <i>Wuthering Heights</i> | 平 田 正 世 |

「我が愛しのジェイン・エア」

—その内に秘められた純粹・情熱における考察—

佐々木 由 佳

Wuthering Heights 論

佐 原 偉 元

東 雄一郎 助教授指導

Edgar Allan Poe 研究

—Poe の創造と破壊の世界について—

標 由 紀

J. D. Salinger 研究

—*The Catcher in the Rye* について—

清 綱 建 吾

Emily Dickinson : *Poems* 論

—彼女の詩における自我の世界についての考察—

野 口 真樹也

Henry James 論

—*The Turn of the Screw* を中心に—

森 田 勝 巳

ヘミングウェイ研究

—『老人と海』についての考察—

高 登 信

ヘミングウェイ文学

—その深淵たる世界—

松 井 由美子

The Red Badge of Courage 論

—その心象世界を通して—

池 原 祥 子

John Steinbeck の研究

—*of Mice and Men* 論—

相 葉 吉 輝

ヘミングウェイ研究

—『誰がために鐘は鳴る』—

葉 月 英

The Great Gatsby 論

—作品における幻想の American Dream—

相 澤 千 枝

An American Tragedy 論

—自己崩壊の必然性について—

加 藤 美由紀

アメリカ詩における女性像

—Emily Dickinson を中心として—

加倉井 久 美

Ernest Hemingway 研究

- | | |
|--|--------------------|
| —『陽はまた昇る』を中心として—
フィッツジェラルド研究 | 倉 田 洋 子 |
| —短篇を中心に—
Ernest Hemingway 研究 | 佐 藤 かほり |
| — <i>The Sun Also Rises</i> を中心に—
Ernest Hemingway 研究 | 要 田 善 弘 |
| —短編小説の考察—
E. A. Poe 研究 | 朝 日 吉 亮 |
| —虚構世界における自己—
ヘミングウェイ研究 | 田 中 淳 一 |
| —『武器よさらば』を中心に—
Theodore Dreiser 研究 | 出 恒 仁 |
| —American Dream の崩壊—
Poe 編短研究 | 相 澤 和 人
横 森 弘 樹 |
| Hemingway 研究 | |
| — <i>A Farewell to Arms</i> を中心とする技法—
<i>The Great Gatsby</i> 論 | 手 塚 繁 |
| —Jazz Age を背景とする <i>Gatsby</i> の考察— | 齋 木 光 弥 |
| 岡 崎 寿一郎 教授指導 | |
| Mark Twain 研究 | |
| — <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> を中心に— | 高 橋 佳 子 |
| F. Scott Fitzgerald 研究 | |
| — <i>The Great Gatsby</i> を中心にして—
ヘミングウェイ研究 | 丸 山 孝 子 |
| —その比較論的アプローチ— | 関 輪 利 里 |
| John Steinbeck 研究 | |
| — <i>The Grapes of Wrath</i> を中心に— | 稲 山 恵 |
| Capote 研究 | |
| — <i>Other Voices, Other Rooms</i> を中心に—
<i>Truman Capote</i> 論 | 生 島 清 江 |

- 二面性の追究— 鷺澤 裕
 Mark Twain 研究
 —*The Adventures of Huckleberry Finn* を中心に—
 宮川 純子
 Ernest Hemingway 研究
 —*A Farewell to Arms* を中心に— 門柳 隆志
 Edgar Allan Poe 研究 河口 純子
 E. Hemingway 研究
 —*A Farewell To Arms* を中心に— 小笹 実樹
 Hemingway 研究
 —*Farewell to Arms* を中心に— 桜庭 靖仁
 J. D. Salinger 論
 —*The Catcher in the Rye* を中心に— 高村 淳子
 Hemingway 研究
 —*For Whom the Bell Tolls* を中心に— 宮内 英次
 サリンジャー研究
 —*The Catcher in the Rye* について— 若林 秀和
 Katharine Mansfield 研究
 —短篇作品を中心に— 渡邊 純子
 Ernest Hemingway 研究
 —*A Farewell to Arms* を中心に— 宮内 直江
 ヘミングウェイ研究
 —『老人と海』を中心にして— 及川 哲宏

落合 和昭 教授指導

「欲望という名の電車」におけるランチの生き方

小森 あゆみ

小林 亨 教授指導

スウィフト (Swift) の風刺性について!

—『ガリバー旅行記』の第4部を主点として—

福田 剛

Jonathan Swift について

—GULIVER'S TRAVELS の風刺性— 山 岸 幸 生

山 縣 敏 夫 教授指導

黒人文化

—アメリカ文化における詩と音楽— 小 田 裕 之

William Faulkner: *Light in August* 論

—Faulkner における黒人問題について— 尾 澤 智 子

Ernest Hemingway に関する研究

—*The Sun Also Rises* 戦争と平和— 岩 間 洋 輝

Richard Wright 研究

—作品 *Outsider* について— 下 重 珠 実

「失われた世代」の作家 F. Scott Fitzgerald 研究

—主として *The Great Gatsby* における社会と恋愛—

篠 崎 泰 子

Ernest Hemingway 研究

—Hemingway の戦争観— 北 倉 純 子

Native Son について

—Richard Wright の見たアメリカ社会の矛盾—

高 橋 恵 美

Richard Wright の *Native Son*

—ニグロ・ルネッサンスの黒人作家について—

飯 塚 豊

Ernest Hemingway 論

—主として *A Farewell to Arms* における戦争と恋愛—

下 野 博 子

Richard Wright 研究

—*Native Son* における黒人問題— 上 甲 由 紀

アメリカ社会と黒人の地位

—黒人音楽を通してみるアメリカ社会とその文化—

佐 藤 俊 之

- マーク・トウェインの生い立ちと作品の相対関係について
—当時の社会問題と作品中の登場人物について—
鈴木 剛
- ラルフ・エリスンについて
—*Invisible Man* 社会性—
飯塚 秀一
- リチャード・ライトについて
—アメリカの黒人差別問題—
弓野 健之
- アメリカにおける黒人差別
—Ralph Ellison の *Invisible Man* 研究—
覚正 裕美
- John Steinbeck 研究
—*The Grapes of Wrath* における人間性の探究—
白濱 なるみ
- 抗議小説について
—Richard Wright の *Native Son* 研究—
土方 任子
- 黒人文化の変遷
—奴隷制度における黒人音楽—
岩崎 明德
- 『緋文字』について
—罪の意識と救い—
安彦 芳則
- E. Hemingway について
—*The Sun Also Rises* 論—
成瀬 勇
- ヘミングウェイ研究
—『武器よさらば』における戦争と平和—
生田 智史
- 黒人文学
—アメリカにおける差別問題—
金 平重
- 黒人文化について
—黒人の抗議の歴史を黒人小説に基づいて探る—
男澤 知樹
- 佐藤 吉介 講師指導
A Study of Mark Twain
—On *Adventures of Huckleberry Finn*—
湯浅 成彦

Jerome David Salinger

—*The Catcher in the Rye*—

森 山 友 勝

A Study of J. D. Salinger

—*The Catcher in the Rye*—

大 熊 宏 佐

A Study of Mark Twain

—*Adventure of Huckleberry Finn*—

中 村 昌 弘

田 中 剛 講師指導

H. D. ソーロー論

桑 原 孝 之

ヘミングウェイ研究

松 井 穰 治

平成元年度卒業論文題目

荒井良雄 教授指導

A Study of Fitzgerald's *THE GREAT GATSBY*

椿山 栄理子

A Study of William Shakespeare's *JULIUS CAESAR*

大野 貴美子

1950年代の「アメリカの夢」

—ジェームズ・ディーンを中心に—

東坂 勝行

チャップリン研究

—『ライムライト』を中心に—

高橋 みさ

アメリカ文学の映画化に関する一考察

—『陽のあたる場所』を中心に—

佐藤 豊美

Eugene O'Neill 研究

—*Beyond the Horizon* を中心に—

成瀬 浩子

A Study of T. Dreiser's *AN AMERICAN TRAGEDY*

白川 陽子

GONE WITH THE WIND 研究

大久保 聖美

MAN AND SUPERMAN 研究

—SHAW の女性観を通して—

阿部 祐佳

George Bernard Shaw 研究

—*SAINT JOAN* を中心に—

加藤 尚子

William Inge 研究

—*The Dark at the Top of the Stairs* を中心に—

松田 安代

Neil Simon 研究

磯谷 美由紀

笑いの文学研究

—イギリスの喜劇を中心に—

平井 こずえ

TWELFTH NIGHT 研究

—意識のズレの喜劇—

山村 明宏

シェイクスピアの喜劇論

吉田 芳規

Charles Chaplin 研究

神野 愛子

HAMLET 研究	荒井美奈子
コナン・ドイル研究	
—シャーロック・ホームズの創造をめぐる—	
	堀越ますみ
Shakespeare: <i>Hamlet</i> における生死観	濱野信幸
『リヤ王』研究	
—主筋と副筋の関係について—	及川圭子
EUGENE O'NEILL 研究	
—BEYOND THE HORIZON を中心に—	吉田珠子
(Shakespeare)シェイクスピアの女性像	小島孝子
Hemingway の短篇小説研究	
—Nick Adams 物語を中心に—	梶山美智子
イギリス文学とフランス革命	
—ディケンズの『二都物語』を中心に—	小松秀絵
T. S. Eliot 研究	
—詩劇を中心に—	下條しげみ
Melville 研究	
—Moby-dick について	野田修司
TESS OF THE D'URBERVILLES 研究	牧野桂子
ミュージカル演劇研究	加納真実
Oscar Wilde の戯曲研究	西村唯史

飯島淳秀 教授指導

Robert L. Stevenson: <i>Treasure Island</i> の研究	
	小林政彦
Austen: <i>Pride and Prejudice</i> 研究	小池照代
Maugham: <i>The Moon and Sixpence</i> 研究	廣瀬真弓
—美を求める魂—	
Joyce: <i>Dubliners</i> 研究	内田敦子
Maugham: <i>The Moon and Sixpence</i> 研究	和田美子
Joyce: <i>Dubliners</i> 研究	黒田とわこ
ジェームズ ジョイス『ダブリン市民』研究 James Joyce:	

- | | |
|-------------------------------|---------|
| <i>Dubliners</i> | 鶴 蘭 純 子 |
| Joyce: <i>Dubliners</i> 研究 | |
| —‘The Dead’ を中心に— | 辻 佳 江 |
| K. Mansfield 研究 | |
| —人生観を探る— | 荒 川 早 苗 |
| 大 沢 一 雄 教授指導 | |
| that について | 水 井 拓 |
| 英語における品詞のシェアとその影響 | 守 岡 博 |
| 岡 田 尚 教授指導 | |
| アメリカ英語 | 諏 訪 洋一郎 |
| アメリカ英語について | 太 田 博 幸 |
| アメリカ英語 | 石 川 智 之 |
| Be going to 試論 | 寺 中 勝 美 |
| 現在完了 | 山 田 直 樹 |
| 現在完了 | 吉 田 和 示 |
| 現在完了について | 井 岡 一 臣 |
| 英語と日本語 | |
| —その発想と表現— | 金 子 賢 一 |
| オーストラリア英語について | 東 弘 美 |
| 英語の語形成について | 長谷川 光 一 |
| 金 関 寿 夫 教授指導 | |
| Ezra Pound, Imagism について | |
| —特に、日本の伝統詩との関係について— | 村 澤 陽 子 |
| Wallace Stevens の世界 | |
| —禅の境地との類似点— | 佐 藤 元 子 |
| “ON THE ROAD” by JACK KEROUAC | |
| —BEATNIKS とその精神— | 織 茂 伸 一 |
| エドガー・アラン・ポー論 | |
| —「詩論」からみた“The Raven” 論— | 山 本 和 彦 |

河崎 征俊 教授指導

G. Chaucer の人物描写について

—*The General Prologue* を中心に—

大塚 さゆり

J. Joyce: *Dubliners* 論

—EVELINE を中心にして—

福田 幸治

Shakespeare: *King Lear* 論

—作中人物の運命について—

上假屋 淳子

Shakespeare: *King Lear* 論

—悲劇の意味をめぐって—

松原 佳子

Shakespeare: *Twelfth Night* 論

—愛と幸福をテーマとした喜劇の研究—

井上 直子

William Wordsworth 詩の自然観をめぐって

坂本 優子

ヘミングウェイ研究

—*The Old Man and the Sea* を中心にして—

相川 誠

George Orwell の政治思想

—*Nineteen Eighty-Four* をめぐって—

飯塚 昭

坂本 武 教授指導

英音(RP)と米音(GA)の差異

野原 裕美

英・米語発音の差異について

—聴き・話す為に—

前田 独平

英語発音各国の相異

—アジア, 中近東, 中南米の英語の緒相と

母国語がおよぼす影響—

高山 猛雄

佐藤 千春 教授指導

Henry James, *Daisy Miller* 研究

—女主人公の行動と心理分析を中心に論じる—

福田 志保里

A Study of Emerson's *Nature*

—「自己信頼」への道—

吉澤 純子

Nathaniel Hawthorne, *The Scarlet Letter* を中心に

吉 富 理 恵

William Faulkner ; *LIGHT IN AUGUST* を中心に

川 田 亜希子

Mark Twain : *Adventures of Huckleberry Finn* について

土 佐 明 男

Nathaniel Hawthorne, *Mosses from an Old Manse*

—“The Birthmark” を中心に

川 島 朋 美

Mark Twain とその作品に見られるアメリカの夢

太 田 亜紀子

中 岡 洋 教授指導

Charlotte Brontë : *Jane Eyre* 研究

鈴 木 利 秋

Charlotte Brontë : *Jane Eyre* 論

新 岡 恵美子

Emily Brontë : *Wuthering Heights* 論

尾 崎 恵 美

Emily Brontë : *Wuthering Heights* 論

高 見 陽 子

Charlotte Brontë : *Jane Eyre* 論

柴生田 益 美

Emily Brontë : *Wuthering Heights* 論

大 谷 純 子

Emily Brontë 論

細 越 千 加

東 雄一郎 助教授指導

アメリカ作家オニールについて

—*BEYOND THE HORIZON* 研究—

羅 秀 芬

ヘミングウェイ研究

—ヘミングウェイの老人について—

侯 莉 恵

Sylvia Plath 研究

—詩を中心にして—

栗 原 真 紀

F. SCOTT FITZGERALD 研究

—*THE GREAT GATSBY* について—

佐 藤 康 代

フィッツジェラルド研究

—『偉大なギャツビー』を中心にして—

松 田 一 紀

ライト・ヴァース研究

- ルイス・キャロルのナンセンスについて— 中 村 真 樹
 フィッツジェラルド研究
- THE GREAT GATSBY* を中心に— 榎 本 有 紀 子
 ヘミングウェイ研究
- 短編を中心に— 渡 辺 千 栄 子
 J. D. SALINGER 研究
- The Catcher in the Rye* について— 村 野 美 幸
 スタインベック研究
- 『二十日ネズミと人間』を中心に— 倉 本 博 規
 A Study of Fitzgerald
- The Great Gatsby* について— 森 栄 一 郎
 Emily Dickinson 研究
- 彼女の内的世界の考察— 川 本 美 加
 E・ヘミングウェイ研究
- 『日はまた昇る』を中心に— 岡 直 子
 John Steinbeck 研究
- THE GRAPES OF WRATH* について— 栗 田 和 久
 John Steinbeck 研究
- 『二十日鼠と人間』を中心に— 野 本 貴 宏
 WALT WHITMAN研究
- “Song of Myself” について— 三 好 衛
 スタインベック研究
- 『怒りの葡萄』を中心に— 本 田 誠 司
 ヘミングウェイ研究
- 『日はまた昇る』を中心に— 金 谷 道 子
 フィッツジェラルド研究
- The Great Gatsby* を中心に— 牧 野 美 絵 子
 ヘミングウェイ研究
- 『誰がために鐘は鳴る』を中心に— 大 谷 昌 子
 ヘミングウェイ研究
- 『武器よさらば』を中心に— 藤 原 か お る

- エミリ・ディキンソン研究
 —その自然観について— 川 島 賢 治
- ヘミングウェイ研究
 —『老人と海』について— 吉 田 雅 樹
- J. D. Salinger 論
 —*The Catcher in the Rye* を中心に— 赤 浦 章 子
- ルイス・キャロル研究
 —ナンセンス世界のヒロイン— 鈴 木 緑
- Earnest Hemingway 研究
 —*FOR WHOM THE BELL TOLLS* に於て達成
 された Hemingway の献身— 内 藤 厚 志
- アーネスト・ヘミングウェイ研究
 —愛とその軌跡について— 先 川 知 世
- 石 原 孝 哉 教授指導
 『真夏の夜の夢』研究 小 林 幹 理
- 小 林 亨 教授指導
 スウィフト：*Gulliver's Travels* 研究
 —スウィフトの人間観— 大 山 隆 司
- Jonathan Swift 研究
 —*Gulliver's Travels* について— 太 田 努
- Swift の *Gulliver's Travels* に見られる風刺について
 —第4話に見られる人間風刺について— 伊 藤 芳 樹
- 山 縣 敏 夫 教授指導
 John Steinbeck
 —*THE RED PONY* 研究— 夕 部 知 宏
- アメリカにおける黒人の文学
 —その社会的背景— 森 本 蘭
- Fitzgerald 研究

- 作品 *She Great Gatsby* について— 添 田 雄 和
 Richard Wright: *Native Son* 論
 —アメリカ黒人と黒人文学の歴史から考察する—
 宇津木 諭
 Richard Wright 研究
 —*Native Son* について— 河 野 哲
 アーネスト・ヘミングウェイについて
 —作品と社会背景の研究— 井 上 隆 明
 ジャック・ロンドン研究
 —『野性の呼び声』について— 新 舟 研 司
 ヘミングウェイ研究
 —『誰がために鐘はなる』について— 入 澤 尚 史
 J. D. Salinger 研究
 —Salinger, *The Catcher in the Rye* について—
 鮑 幸 梅
 Richard Wright 研究
 —*Native Son* について— 茅 野 祥 伸
 Ernest Hemingway 研究
 —『日は又昇る』について— 横 山 周 三
 ジョン・スタインベックについて
 —その作品と社会背景の研究— 石 丸 和 良
 ヘミングウェイ研究
 —『武器よさらば』について— 細 谷 則 和
 アメリカにおける人種問題
 —主としての黒人作家について— 大 川 砂由里
 人種差別と魂に関する論文
 —文学・音楽・スポーツ・社会における黒人— 佐々木 常 裕
 アメリカ黒人文化研究
 —文化として現代黒人音楽とその周辺— 竹 田 信 洋
 Ernest Hemingway 研究
 —『武器よさらば』における戦争と恋愛論— 河 野 充 宏

Ernest Hemingway 研究

—『日は又昇る』における愛の認識—

卯田光弘

佐藤吉介 講師指導

A Study of Hemingway

—*For Whom the Bell Tolls*—Hemingway, *A Farewell to Arms* 論諸井 恵
駒走 英行

田中 剛 講師指導

Mark Twain 論

フィッツジェラルド研究

伊豫部 準 二
川岡 洋子

土岐 恒二 講師指導

D. H. ローレンス『チャタレー夫人の恋人』に

関する日本の法律の対応

—『チャタレー夫人の恋人』における性の問題に

ついての最高裁の態度—

青島 元

エリオットの評論について

—エリオットの評論の米文学史における位置—

藤平 人史

J. D. Salinger, *The Catcher in the Rye* に見る人間真理

—時代を越えて生き続ける Holden Caulfield—

品田 斉